

【2019年度募集案内】 愛知県立農業大学校

ニューファーマーズ研修



※この研修は「農業次世代人材投資資金」（準備型）の受給対象の研修です。

1 目的

Uターン就農希望者（農家出身）や新規参入希望者（非農家出身）等の方に**農業経営に必要な基礎的知識・技術などを効率的に習得していただき、円滑に就農できるよう**支援します。

2 受講資格

心身ともに健康で、愛知県内で農業経営（**農業所得概ね250万円以上**）を目指す方で、下記のいずれかに該当する方

- (1) **18歳以上50歳未満**の方（平成31年4月1日現在）。
- (2) **概ね55歳以下**の方で、農業経営に必要な**農地を所有している方**又は**借地できる見込みがある方**
- (3) その他、特別に愛知県立農業大学校長が受講を認める方

3 定員

研修生 20名程度

※ 定員を満たすまで、聴講生の募集を受け付けます。

聴講生は、講義・演習を選択して受講することができます。

なお、聴講生は「農業次世代人材投資資金」の対象になりません。

4 募集期間

(1) 研修生

2019年2月19日（火）から2019年3月22日（金）まで

(2) 聴講生（研修生が定員を満たさなかった場合に募集）

2019年4月8日（月）から、定員を満たすまで随時募集

5 研修期間

2019年4月18日（木）から2020年2月28日（金）までの10か月間。

6 専門コース

花きコース、作物コース、果樹コース、野菜コース

7 研修内容

講義・演習等（計180時間）及び実習。詳細は、研修カリキュラムを参照してください。

実習は、次の**2つからどちらかを選択**してください。

- (1) 自己ほ場（研修生のほ場）（両親等から技術的な指導を受けることが可能な方）
- (2) 先進農家（研修生で選定）

8 申込み方法及び注意事項

(1) 提出書類等

就農予定地（未定の場合は居住地）を所管する農起業支援センター（愛知県農林水産事務所農業改良普及課内）へ、次の**アからウの書類等**を持参してください。記載内容の確認がありますので、郵送では受け付けしていません。

ア 受講申込書【様式1】

イ 履歴書【様式2】

ウ 就農希望概要書【様式3】

(2) 実習において、「先進農家での実習」を希望する場合は、事前に農起業支援センターと相談するなどして、受け入れ農家を選定した上で、申し込んでください。

(3) 受講を申し込まれた方は、農業大学校で、以下の日程で**説明会及び面接**を実施しますので、**必ず出席**してください。**受講の可否**は、書類審査・面接等により決定し、面接の1週間後までに**本人に連絡**します。

・研修生 2019年4月5日（金）午後1時30分から

・聴講生 申し込み後、別途連絡します。

(4) **受講料は無料**ですが、教材費等は研修生の負担となります。

（教材費等の自己負担予定額 約20,000円）

また、校外実習への参加には別途参加費がかかります。

(5) 受講が決定した方は、**必ず各自で傷害保険・傷害共済等に加入してください**。研修中の事故について、当校は一切の責任を負いません。

(6) **「農業次世代人材投資資金（準備型）の受給を希望する研修生**は、実習時間を900時間以上確保する必要があります。なお、受給を希望する場合の実習先は、愛知県が認定した研修機関等に限り（自己ほ場は対象外です）。

また、**農業次世代人材投資資金（準備型）の受給には別途審査が必要です**。

(7) 聴講生も研修生と同様の方法での申し込みが必要です。書類審査・面接等によって受講の可否を決定します。

9 修了要件

次の3つの条件を満たした場合は、修了証書を授与します（聴講生は該当しません）。

(1) 履修時間の8割以上を受講

(2) プロジェクト活動に取り組み、実績書を提出

(3) 就農のための経営計画書を提出・発表

※いずれかの条件を満たすことができないと判断された場合は、聴講生へ変更とします。

10 研修場所

愛知県立農業大学校（最寄り駅 名鉄 美合駅下車徒歩10分）

岡崎市美合町字並松1-2

11 連絡先

愛知県立農業大学校研修部就農支援科就農支援グループ（石本）

電話：0564-51-1034（研修部直通）

FAX：0564-51-4831

●研修カリキュラム

基本的には、これまで農業に関わる実務的な教育を受けていない人を対象とした**基礎的な内容**です。
 講義・演習・校外学習は、原則として、火曜日又は木曜日のいずれかに行います。
 (午前の部 8:50~10:20、10:30~12:00、午後の部 13:00~14:30、14:40~16:10)
 なお、内容等は都合により変更することもあります。
 行事等及び学科の履修時間の合計180時間を修了目標とします。

区 分	科 目	時間	内 容	対 象		
行事等	開 講 式	3.0	校長あいさつ、オリエンテーション、自己紹介	全コース		
	就 農 支 援	48.0	就農経営計画作成、プロジェクト、個別面談等			
	発 表 会 ・ 閉 講 式	6.0	校長あいさつ、就農経営計画・プロジェクト発表、修了証授与			
	履修時間小計		57.0		日数換算 9.5 日	
学科 (共通科目)	講義	農 産 物 の 流 通	3.0	農産物の流通経路、市場システム	全コース	
		農 作 業 安 全	1.5	農作業事故の発生原因と防止対策		
		農 業 経 営 の 基 礎	3.0	農業経営の概念、経営計画、経営管理、決算書		
		農 業 簿 記 の 基 礎	12.0	仕訳帳の基礎、決算処理、棚卸台帳、減価償却表の作成		
		税 制 の 基 礎	6.0	所得税、消費税、相続税、固定資産税の概要、青色申告		
		農 産 物 の マーケティング	3.0	マーケティングの概念、構成要素、経営戦略		
		経 営 と 財 務	3.0	開業に係る手続きと財務処理、経営分析、原価計算など		
		農 地 制 度 の 基 礎	3.0	農地の現状、制限事項、農地の貸借		
		農 業 金 融 制 度 の 概 要	3.0	制度資金の種類と目的、種類別の利用方法		
		先 輩 農 業 者 か ら の 提 言	3.0	就農準備、就農後の実情、農業への思い		
		労 務 管 理 の 基 礎	3.0	労働基準法の基礎と農業における特例、雇用契約のポイント		
		6次産業化と食品表示制度	3.0	6次産業化の基礎知識、食品表示制度		
		プ ロ ジ ェ ク ト 活 動 の 意 義 と 進 め 方	3.0	プロジェクト活動の意義、展開過程、種類、効果 プロジェクト計画の組み立て方		
		植 物 生 理	6.0	植物の構造、植物と無機栄養、光合成、植物の成長		
		農 業 と 環 境	3.0	農業が環境に与える影響、環境に配慮した農業生産に関する		
		病 気 の 診 断 と 防 除	3.0	農作物の病害に関する診断・防除の事例紹介		
		害 虫 の 診 断 と 防 除	3.0	農作物の害虫に関する診断・防除の事例紹介		
		病 害 虫 の 基 礎 知 識	1.5	病害虫に関する基礎知識、薬剤ローテーションの意義		
		雑 草 防 除	1.5	雑草の種類と生態、除草技術		
		農 薬 の 正 し い 使 い 方	3.0	農薬の基礎知識、ポジティブリスト制度、安全使用		
		土 壌 肥 料	6.0	土壌の物理的・化学的性質、肥料と施肥の基礎		
			3.0	作物・土壌条件に見合った施肥設計技術		
		施 肥 技 術 論	3.0	土づくり、たい肥の効果、減化学肥料栽培技術		
		農 業 気 象	1.5	農業気象の基礎		
		演習	土 壌 診 断	6.0		土壌診断の基礎、サンプリング、分析・診断
		共通科目履修時間小計		90.0		日数換算 15.0 日

区分・科目		時間	内 容	対象	
学科 (選択科目)	講義	花き栽培論	12.0	花き栽培の基礎、小ギクの栽培方法等	花き
		作物栽培論	6.0	作物(水稻、麦、大豆)栽培の基礎	作物
		果樹栽培論	12.0	果樹栽培の基礎	果樹
		野菜栽培論	24.0	野菜栽培の基礎	野菜
		農業入門講座	3.0	農業に関する基礎的な用語解説	希望者
		農業機械実習	6.0	草刈り機の基礎、ロータリー耕の基礎	
		新規就農するためのノウハウ	3.0	意志決定、就農準備、計画、農地の取得、就農後のこと	
		就農支援制度の概要	1.5	新規就農者の動向、就農計画認定制度、就農支援資金	
		農福連携入門	1.5	農福連携の概要、実践事例	
		情報処理の基礎	6.0	ワード・エクセル等の使い方、インターネットによる情報収集等	
		生産高度化研修	24.0	作物、野菜、果樹、花きの最新の農業技術	
	校外学習	24.0	先進農家(農業法人・新規就農など)、市場、研究施設など		
	演習	パソコン農業簿記(初級)	6.0	農業簿記の基礎と、パソコン簿記による仕訳の方法	
		パソコン農業簿記(中級)	6.0	パソコン簿記による仕訳と、財務諸表の作成	
農産物利活用研修		9.0	6次産業化の基礎知識、表示制度、製造技術等		
未 定		6.0	未定		
選択科目履修時間小計		150.0	日数換算 25.0 日		
修了に必要な行事等・学科履修時間合計		180.0	日数換算 30.0 日		
実習	どちらか選択	自己ほ場	900.0	自己ほ場で実習 (両親等から技術的な指導を受けることが可能なこと。)	全コース
		先進農家	900.0	先進農家で実習(ただし、先進農家は各自で選定する。)	
	目標履修時間合計		900.0	日数換算 150.0 日	

【参考】 農業機械研修受講により取得可能な資格(予定)

免許・技能注	免許	大 特 免 許	大型特殊免許(農耕車限定)取得のための講習 (別に試験を受ける必要あり)	希望者
	免許	けん引免許	けん引免許(農耕車限定)取得のための講習 (別に試験を受ける必要あり)	
	技能	大特トラクタ作業	耕起作業等作業機の操作方法及び農業機械の構造、整備等の知識習得	
	技能	小型車両系機械	バックホー等の知識及び基本操作等の技能習得、修了証の取得	
	技能	アーク溶接	アーク溶接の取り扱い、知識及び基本操作等の技能習得、修了証の取得	
	技能	フォークリフト	フォークリフトの知識及び基本操作等の技能習得、修了証の取得	
	技能	刈払機	刈払機の取り扱い、知識及び基本操作等の技能習得、修了証の取得	

(注) この研修は、ニューファーマーズ研修の履修時間には含まれません。
別途受講料・手数料などが必要です。
内容等は変更する場合があります。